

平成30年 第13回帯広市教育委員会会議録

1. 平成30年8月3日 金曜日 16時30分 ～ 17時45分
帯広市教育委員会会議を帯広市役所 10階第5B会議室に招集する。

2. 本日の出席委員

教 育 長	嶋 崎 隆 則
教 育 委 員	田 中 厚 一
教 育 委 員	藤 澤 郁 美
教 育 委 員	佐々木 しゅり
教 育 委 員	塩野谷 和 男

3. 本日の議事日程

- 日程第 1 会議録署名委員の指名について
- 日程第 2 議案第 29 号 小学校用教科用図書の採択について
- 日程第 3 議案第 31 号 高等学校用教科用図書の採択について【非公開】
- 日程第 4 議案第 30 号 中学校用教科用図書の採択について【非公開】
- 日程第 5 報告第 18 号 教科用図書の採択に係る情報の公表について【非公開】
- その他

嶋崎教育長

これから、平成30年第13回帯広市教育委員会会議を開会いたします。

出席委員は全員であります。

会議は成立しております。

ここで諸般の報告をいたします。

(佐藤企画総務課長 報告)

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、藤澤委員及び佐々木委員を指名いたします。

日程第2、議案第29号、小学校用教科用図書の採択についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

中野 部長

議案第29号、小学校用教科用図書の採択についてご説明いたします。本案は帯広市立学校管理規則第41条第1項の規定に基づき、平成31年度に市内小学校で使用する教科用図書を採択しようとするものでございます。まず、道徳以外の教科書につきましては、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条の規定等により、同法施行規則第6条の規定に該当する場合を除き、4年間、毎年度、種目ごとに同一の教科用図書を採択するものとされております。本来であれば、本年度は小学校用教科用図書の採択を行う年にあたりますが、学習指導要領の改訂に伴い新たに文部科学大臣の検定を経たものがないことから、北海道教育長が決定した採択基準では、採択権者の判断と責任により、4年間の使用実績を踏まえつつ、平成26年度の採択における調査研究の内容等を活用することも可能であることとしています。これを受け本市といたしましては、平成26年度の採択時に、選定委員会において教科ごとに慎重に調査・検討を重ねた上で、教育委員会会議で審議した結果、現在まで使用している教科用図書を採択・決定し使用してきている経過を踏まえ、平成26年度の採択理由を基本に、平成30年度と同一の教科用図書を使用することとして、採択をお願いするものでございます。また、道徳につきましては、昨年度に採択していただいておりますので、同法第14条の規定により、平成30年度と同一の教科用図書を使用することとして、採択をお願いするものでございます。以上よろしくご審議いただきますようお願いいたします。

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結します。

お諮りいたします。

議案第29号、小学校用教科用図書の採択については、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

異議なし。

嶋崎教育長
各 委 員
嶋崎教育長

各 委 員

嶋崎教育長

ご異議なしと認め、議案第29号については、そのように決定されました。

ここで会議の進め方についてお諮りいたします。

日程第3、日程第4及び日程第5の案件については、帯広市教育委員会会議規則第16条第1項第6号により、非公開にいたしたいと存じます。

これにご異議ありませんか。

各委員
嶋崎教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのとおり取り扱いたします。

これより会議を非公開といたします。

日程第3、議案第31号、高等学校用教科用図書の採択についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

中野 部長

議案第31号、高等学校用教科用図書の採択についてご説明いたします。議案書7ページをご覧ください。本件は帯広市立学校管理規則第41条第2項の規定により、平成31年度に帯広南商業高等学校で使用する教科用図書につきまして、学校長が文部科学省の高等学校用教科書目録の中から選定し、教育委員会にお諮りするものであります。議案書9ページ以降に使用教科用図書を掲載しておりますが、平成31年度は、計35の教科書を選定してございます。このうち、今年度からの変更点についてであります。国語の「現代文A」及び、商業の「経済活動と法」の2科目につきまして、教科書改訂のため、変更選定いたしました。また、理科につきましては、「生物」から「化学基礎」へカリキュラム、選択科目でございしますが、これを変更することに伴い、新たに「化学基礎」の教科書を選定したところでございます。選定のプロセスにつきましては、担当教諭による教科会議をはじめ、教科主任によるカリキュラム委員会、教職員による職員会議を経て、校長が選定を行ったものでございます。以上よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

お諮りいたします。

議案第31号、高等学校用教科用図書の採択については、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

嶋崎教育長
各委員
嶋崎教育長

異議なし。

各委員
嶋崎教育長

ご異議なしと認め、議案第31号については、そのように決定されました。

日程第4、議案第30号、中学校用教科用図書の採択についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

中野 部長

議案第30号、中学校用教科用図書の採択についてご説明いたします。議案書の3ページをご覧ください。本案は帯広市立学校管理規則第41条第1項の規定に基づき、平成31年度に市内中学校で使用する教科用図書を採択しようとするものでございます。中学校用教科用図書につきましては、平成27年度に採択を行い、本年度まで使用してきているものでございます。この度、学習指導要領の一部改正が行われ、新たに実施されることになった「特別の教科 道徳」の教科書について本年度採択を行うことから、はじめに「特別の教科 道徳」の採択の審議方法についてご説明をいたします。昨年度の検定を経た教科用図書につきましては、去る6月7日に帯広市教科用図書選定委員会に諮問し、調査研究を行っていただき、7月25日に答申があったところでございます。本日、委員の皆様には、この答申に基づきまして、8種の中から1種の教科用図書を採択していただくものでございます。次に「特別の教科 道徳」以外の教科の採択の審議方法についてご説明いたします。「特別の教科 道徳」以外の教科につきましては、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条の規定等により、同法施行規則第6条の規定に該当する場合を除き、4年間、毎年度、種目ごとに同一の教科用図書を採択するものとされております。平成27年度に採択を行っておりますことから、平成31年度に使用する教科用図書につきましても、平成30年度と同一の教科用図書を使用することとして採択をお願いするものでございます。以上よろしくご審議いただきますようお願いいたします。

嶋崎教育長

これから平成31年度に使用する中学校用教科用図書の採択にかかる審議を行います。

まず、道徳の審議を行います。

道徳につきましては、8種から採択を行います。

それでは、各委員からご感想やご意見を自由に述べていただきたいと思えます。

最初に藤澤委員からお願いします。

藤澤 委員

それでは、私の方から述べさせていただきます。8社の中から選ぶということで、すべてに目を通させていただきました。その中から、東京書籍、光村図書、学研教育みらいの3社に絞って詳しく見させていただきました。結論から先に申しますと、私は東京書籍を選ばせていただきました。何点かの理由をこれから述べたいと思えます。挿絵・写真が見やすく、文字もユニバーサルデザイン対応フォントで読みやすく、A B版で使用しやすいサイズであると感じました。内容とは直接関係ないのですが、表紙が大変気に入っております。表紙のイラストが1年生では、中学校という

新しいフィールドに躍り出たばかりの1年生、音楽・美術・体育といった楽しいモチーフに囲まれて、ドキドキの中学校生活が始まる様子。2年生では学校を中心として、充実した日々を送りながら、歴史や科学といったモチーフとともに過ごすうちに、学問的な冒険の入り口が見えてくる様子。3年生では国際社会や宇宙といった、より広い世界に目が開かれて、中学校生活の仕上げに向かう最上級生の視線はもっと先の未来にも向けられている様子が描かれています。1年生から3年生の教科書の表紙を縦に並べるとイラストのつながりがあり、生徒の成長していく様子が描かれて、生徒の将来性が見えるとともに、とても楽しく感じられました。それから、冒頭の見開きに、広々とした空・山・海の写真に詩が書かれていまして、写真も詩もとても素敵で大変清々しさを覚えました。冒頭にオリエンテーションがあり、マンガで学習の流れを解説するなど、生徒の興味を持たせる工夫が見られ、楽しく1年間の学習に入れるように配慮されていると感じました。各学年に2から3の発問「考えてみよう」という話し合いの手引き、「つぶやき」のコーナーが配置されていて、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で考えを深め判断し、表現する力などを育むことができるように工夫されていると思いました。いじめ問題対応と生命尊重に関しましては、それぞれ3教材をまとめ、ユニット形式で構成されていて、1つのテーマを多面的、多角的に考えることができるようになっており、大変評価されるものだと思います。小学校の道徳で学習した教材の掲載があり、中学生になってからの考え方の変化や成長を確認することができます。いろいろな分野で働く人たちの紹介では、キャリア教育を通して高等学校との接続を図るなど、小学校、高等学校との関連を持たせることで、つながりのある教育ができると思いました。必修を30教材、付録を5教材設定していて、柔軟にカリキュラムが組める排列と分量になっており、1教材当たりの分量も少な目で、考え議論する時間が確保できるようになっているところが良いと思いました。教材の分量が多いと、考え議論する時間が十分に取れなく、中途半端な授業になる可能性がありますので、分量が少ない方が良いのではないかと考えました。全体を通しまして、授業の進め方がわかりやすく、生徒たちに特定の価値観を押し付けない、自由で多様な考え方を尊重できる教科書になっているという感想を持ちました。先ほど申しましたけれども、最終的には東京書籍にしましたが、異文化の視点で優れていて、人権上の配慮があるのは光村図書という感じもしましたし、多角的な考え方ができる学研教育みらいにも魅力を感じました。以上です。

嶋崎教育長
塩野谷委員

ありがとうございます。塩野谷委員お願いします。

取り扱い内容については、先日、教科書選定委員会の報告にもあ

りましたが、各社ともバランス良く構成されていると思いました。内容の構成排列等については、各社とも適切な発問、問いかけを設置して、それぞれに工夫が見られると感じました。中には大人の私が答えに迷うものも見られました。学びあった効果に主眼を置きまして、4社を選択しました。それぞれの特徴について、簡単に述べさせていただきます。まず、学校図書では、「心の扉」を随所に配置して、さらに学びを深め、様々な場面で活用できるようになっていると思いました。次に、学研教育みらいでは、タイムリーに「クローズアップ」を導入して、別の視点からその教材に関連させ、考えを深め、広められるようになっているという特徴があると思いました。3つ目の光村図書では、組み合わせをユニット化した設定で効果的に学びやすく、また、学びのテーマの「つなげよう」では、他の関連教材などと結びつけて、さらに深く考えたり、行動することができるような工夫がありました。4つ目は東京書籍です。小学校で採択されているということから、引き続き中学校でも使用すると使いやすさがあると思いました。この中で教科書の重さを考えると、学校図書は500g以上あることを考えるとどうかと思いました。また、小学校で使用されていることを除くと、学研教育みらい、光村図書が良いのではないかと思います。今申し上げた4社から1社に絞るとすれば、光村図書が良いのではないかと思います。年間の学習を4つのシーズンに分けて、1年間を見通しながら勉学に臨むことができること。また、自ら振り返るための工夫について、教材ごとに記入する「私の気づき」やシーズンごとの記録を残す「学びの記録」を配置するなど、年間35時間を通して、道徳的価値について、体系的、効果的に学び深めることができるのではないかと思います。また、教材の内容自体にも、例えば、他の教科書で死刑制度について考えるとあり、中学生には難しく、別の教材に置き換えた方がいいのではないかと思うものもありましたが、光村図書では、そういった教材はありませんでした。以上です。

嶋崎教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員お願いします。

私も8社読ませていただきましたが、教科書選定委員会の報告でもあったように、どれも内容的にバランスが良く、はっきり甲乙つけがたい内容で、どれも読んでいて面白かったですし、最後まで、日本文教出版と東京書籍の2社で迷いました。理由については、どの教科書も似ている部分がありつつも、各社独自のトピックがあったのが良かったところで、中でも東京書籍の場合は、児童の貧困について扱っている教科書は他にもありましたが、はっきりと児童労働のことを扱っていました。普段何気なく口にしているチョコレートは、実は児童労働に支えられて作られているかもしれないという記事がありました。それは道徳を学ぶ中でもとても意義のあるトピ

ックスだと思いを引きました。日本文教出版は、LGBTについて簡単ではありますが、唯一1社だけ扱っていました。各社とも多様性の尊重とか寛容とか、みんな違ってみんな良いという内容が書いてあるにしても、具体的に世の中でどのような違いがあるのかということについては意外と狭くて、批判するわけではありませんが、世の中にはもっといろいろな違いがあることをわかってもらいたいと思って、日本文教出版の記載は良いと思いました。ただ、結論から申しますと、東京書籍を推薦します。理由については、まず、取扱内容は、生命の尊厳について、第1学年で自分の命と身近な友人の命、それから顔の見えない誰かの命について取り上げていて、第2学年では終末医療に関わる人、そして家族の命、生命の終わり、死について、命のつながりについて取り上げていて、第3学年では、出産と生きるか死ぬかになった場合に生き延びようとする力、それと逆のお話になりますけども、尊厳死にまつわる問題について取り上げていて、生命の尊厳の1つをとっても、多角的な視点から考えられるようになってきているのは良いと思いました。いじめ問題については、全学年を通していじめに関わる様々な立場の人たちの気持ちと言い分を取り上げていて、さらにその様々な立場といっても、学年が上がるにつれてよりはっきり細分化された、被害者、加害者、観衆、傍観者と呼ばれる立場により細分化されて扱うようになっていて、いじめの原因や経緯について考えさせられる内容になっていました。第3学年になると、さらに被害者を支える立場からの視点で進行する読み物を掲載し、いじめ防止のための中学生サミットの内容を詳しく取り上げ、いじめをしない、させないために自分たちにできることが何か、より深く考えさせられる内容になっていて、とても意義があると思いました。自然についても、自然の美しさや偉大さについて触れていて、それを守る人々を紹介しているだけでなく、自分たちには何ができるか考えさせる内容にもなっていました。情報モラルについては、各社共通していますが、全学年を通してパソコンやスマートフォンを使った情報発信に関わる問題、特にその危険性について焦点を定めていて、中学生にも広く浸透しているスマートフォンを媒体としたSNSに関わる問題についてより焦点を当てて、いじめ問題と絡めて、より自分のこととして深く考えられるようになっていました。藤澤委員もおっしゃっていましたが、全学年を通して、冒頭に「話し合いの手引き」が掲載されていて、「司会カード」を使って効果的な対話が中学生にもできるように図られていて、話し合う上でとても大事なものだと思いました。また、「考えてみよう」では、学習のねらいが明確にされているのですけれども、いろいろな見方や考え方のできる事柄については、意見の例示をしないなどの特定の見方や考え方に誘導しないよう配慮

された問いかけがなされていて良いと思いました。それから「アクション」では、それぞれ異なる立場を演じるロールプレイングで、1つの問題についても多角的に考えられるように図られていました。最後になりますが、注目したところは、全学年を通して巻末に、自分で作るようになっている「心情円」が添付してあり、生徒同士の対話、学習の進み具合、年齢が上がっていく時もそうだと思いますが、自分の心情とか価値観を視覚化できるよう、自分の考え方や価値観もいろいろなことで移り変わるということを客観的に自分で見られるようになっていて、これはとても良いと思いました。数値で測るよりも、自分で動かして、今日はこんな気分というような感じで、微妙な移り変わりを自分で客観視できるのは良いと思いました。以上の理由で東京書籍を推薦します。

嶋崎教育長
田中 委員

ありがとうございます。田中委員お願いします。

今、皆さんのおっしゃったことと重複するかもしれませんが、お許しいただければと思います。まず、申し上げるまでもなく、道徳の教科書は検定を通過していますので、8社すべての教科書ともにバランスが良いと思います。その中でどのような基準を持たなければならぬか設定しました。それで私が改めて確認したのは、1つは発問の適切さ、質もそうですけれども、質よりむしろ量ではないかと思いました。少なすぎると指導者の価値観が出過ぎてしまうし、多すぎると逆に一定方向に生徒を引き付けてしまうことがあるので、生徒たちの価値観を多様化させるための適切な発問数があるだろうと思いました。それから、道徳の教科書を読みながら、縦書きということもあるのか、途中で国語の教科書を読んでいるような気持ちにとらわれてしまいました。道徳は道徳で、国語とは勿論目標が違いますので、その点をどのように考えていったら良いのかということです。多様性やバラエティに富んだ教材をどれだけ多く取り入れることができるかということになると思いました。もう1つは、先ほど塩野谷委員もおっしゃっていましたが、教科書自体のサイズや重さについても、考えざるを得ない時代になっていると思います。8社を読ませていただき、そこから東京書籍と光村図書、日本文教出版の3社に絞らせていただきました。日本文教出版を改めてじっくり読みましたら、発問も適切ですし、バラエティにも富んでいて、バランスも良く、先ほど佐々木委員の言われたとおりです。ただ、引っかかるころは、別冊をどうするのかと思いました。また、地域との連携をかなり押し出してはおりますが、具体的にはどうなのかという感じもいたしました。光村図書は、特に国語の評価が高い出版社です。教材の質もかなり高いと思いました。昨今、十勝でも話題になっているピンクシャツデーや「君の椅子」プロジェクトの話、確か東川町だと思いますが、そこで行われているような取り組

みが教材として掲載されており、生徒の興味関心を引くだろうと思いましたが、少し発問数が多いと感じました。悪いというわけではありませんけれども、ただ、これは指導者にとってみると、指導者自身がかかりスキルを高めていかなければいけないと思いました。先ほど何方かおっしゃっていたと思いますが、教材の数は1年間での分量としてはどうだろうという気がしないでもありませんでした。東京書籍は、発問数が2つくらいで適切だと感じました。様々な角度から、マンガやロールプレイングなどいろいろなやり方で、価値観は多様性があるというのと、1つの正解を導くということではないというこの教科の考え方に一番沿っていて、生徒の自主性を引き出す意味で一貫していたような気がします。それから「学びの振り返り」で各自の振り返りをしてもらおうとしていることや、佐々木委員もおっしゃっていましたが、いじめ防止の中学生サミット、これは帯広で実施していることにもつながり、効果が高いという言い方が良いかどうかわかりませんが、これも良いと思いました。命の重要さは皆さんがおっしゃったとおりで、尊厳死の問題や大人でもなかなか答えられないような様々な問題を意識的に問いかけとして出されていること。他の出版社もそうなのかもしれませんが、写真でかなり驚かされたところがあります。阪神淡路大震災の災害後の写真を掲載していたと思います。いろいろな写真を出されていて、綺麗な写真というのではなく、かなりリアリティのある写真が全面的に出されていて、今の現実を認識してもらおう意味では良いのかと思いました。確か第五福竜丸事件の話を出していて、今と過去を結びつけるというような、多角的な観点も指導できるように組み立てていたような気がいたします。それと「読書の手引き」を入れていたことも、いろいろな場面で使えると思いました。生徒の自主性、あるいは生徒に様々な形で活動させていくということ、先生が中心になって授業をするのではなく、生徒の様々な思考を引き出す教科として、より最適な教科書は、東京書籍ではないかと判断させていただきました。繰り返しますが、光村図書も日本文教出版にしても、非常に考えさせられる教材が多くありました。最後に、小学校の採択時にも発言させていただきましたが、道徳の教科書はいろいろな議論があります。人が道徳を教えるべきではないという議論も、わからないわけではありませんが、教材自体を読むと、ほとんどは人間が人間としてあることの意味のようなものを説いていて、生きるところから死ぬところまでの一生で、他者とのかかわりの中でどうやって人間が生きていくのかということを真摯に説いた教材が多いような気がいたします。その意味で小学生にしても中学生にしても、こういう教材が、いろいろな人々、民族、人種、すべてが違うことが当たり前であって、自分の考え方を相対化できるよ

うなそんな素晴らしい出会いの場であってほしいと思います。東京書籍に限らず、そのようなことがたくさん書かれていて、感動して思わず涙ぐむような教材も多々ありました。したがって、教師一人一人の研鑽を積んでいただかなければならないだろうと思いますので、教育委員会としては、教職員に対する支援、研鑽の場をたくさん作ってあげていただきたいと思っております。結論としては、東京書籍を推薦いたします。

嶋崎教育長

ありがとうございます。それでは私からも述べさせていただきます。それぞれ特徴がありますけれども、総じて大きな違いはないだろうと感じました。その中で絞り込まなければなりませんので、見るポイントにつきましては、1つは生徒目線での読みやすさや本のサイズ、持ち運びやすさ、文字の大きさをチェックポイントとさせていただきます。2つ目は、教材の選択を含めた独自性や目次の作り方、分量についても見させていただきました。皆さんもおっしゃっていましたように、価値観の多様化がどれだけ広がって取り上げられているかというところ、北海道の教材がどれくらい扱われているか、分冊やメモ欄はどのように活用できるのかという目線で見させていただきました。皆さんもおっしゃるとおり、発問については、多すぎると生徒の考えが縛られてしまうし、少ないと先生の力量が問われるだろうと思います。結論から申し上げますと、東京書籍、光村図書、学研教育みらい、この3つはバランスがよいと感じました。東京書籍につきましては、幅広のA B版の中で一番軽いものでした。教材ごとの「つぶやき」の欄は書きやすいのではないかと思います。目次は、この教科書だけが教材名が先ではなく、生徒が考える視点でというところが最初に書かれていて、意図がよく分かると感じました。文部科学省から出している「私たちの道徳」からの引用教材が一番少なかったように感じます。それから、北海道の素材も多かったと感じました。次に光村図書は、ボリュームは結構あるのですが、薄手の用紙にして軽くしようという工夫が感じられました。新聞の記事や投書欄などの社会にあるものを活用して物を見ていこうという姿勢が感じられました。巻末には松岡修造やサンドウィッチマンなどの身近な方たちのメッセージを取り上げていて、生徒目線というものを感じました。ただ、少し文字が小さいところが気になりました。学研教育みらいは、唯一の大判のA版で、その割には8社中4番目くらいの軽さでした。見開きのページの写真など、大判を意識した良さが感じられました。手に取りやすく、見た目がとても良かったという印象です。余談ですが、3年生で臓器移植についての6つの例文を出していたのが秀逸だと感じました。この3社以外の会社の所感だけを申し上げますと、学校図書は圧倒的なボリュームがあり、発問も多くて、先生方には

チョイスがしやすいのではとも思いましたが、重さがネックと感じました。教育出版は発問数が3つ、アイヌや釧路湿原などの北海道の教材が多かったと思います。塩野谷委員がおっしゃっていましたが、死刑制度を考えるとというのは、かなり踏み込んだ教材だったという点で印象に残っています。日本文教出版については、分冊をどうやって使いこなすのかと感じました。写真やマンガなどは生徒が入りやすいように工夫されていたと思いますが、作り込み過ぎているように感じました。廣済堂あかつきは、A B版の分冊はボリュームがあり、文字の大きさや見やすさがありましたが、分冊にも教材が入っていたりして、使い方が難しいのではと感じました。最後に、日本教科書は、唯一表紙が写真で、すっきりして最軽量でしたが、いじめの部分は若干少ないように感じました。教材選択が幅広くわかりやすいと感じましたが、文字は少し小さいように思いました。東京書籍、光村図書、学研教育みらい、この3つの順番で推奨できると思っております。

嶋崎教育長

それぞれ皆さんからご意見をいただきましたが、追加などはございますか。東京書籍は小学校との関連がお考えの中にあっただかと思っておりますが、塩野谷委員も4社の中には東京書籍が入っております。

塩野谷委員

4社から絞ると、光村図書になりましたが、皆さんのご意見を聞いて、東京書籍を推薦することに異論はありません。

嶋崎教育長

塩野谷委員から、東京書籍で異論はないというご意見をいただきましたので、皆さんのご意見が一致したということになります。よろしいですか。

各 委 員

はい。

嶋崎教育長

それでは、皆さんのご意見を総合いたしますと、道徳の採択すべき教科書は、東京書籍というご意見で全員一致しております。

東京書籍を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員

異議なし。

嶋崎教育長

ご異議がないようですので、採択理由を確認するため暫時休憩いたします。

(休 憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

「道徳」の採択につきましては、『目次に各教材で考える視点が示され、巻頭のオリエンテーションでは、漫画で一単位時間の学習の流れを解説するなど、生徒に興味を持たせる工夫が見られるとともに、生徒の心に響く教材を配置するなど、何をどのように学ぶかが認識しやすくなっている。「考えてみよう」という話し合いの手引きや「つぶやき」のコーナーの掲載、自己の心情を視覚化できるような「心情円」などの工夫、適切な発問の分量により、特定の価値観

を押しつけず、自由で多角的な視点から指導できるようなアプローチがなされており、多様な考え方をより深めることができるようにつくられている。生命の尊重といじめ問題に関しては、それぞれに3教材によるユニット形式で構成され、より深く考えさせる内容になっている。「生命の尊重」については、出産や尊厳死への問いかけがみられたりするなど、多角的な視点から教材が選択・構成されている。「いじめ問題」については、被害者・加害者・観衆・傍観者の心情等を取り上げ、原因や経緯について考えさせたり、いじめ防止に向け、本市でも取り組まれている「中学生サミット」が取り上げられるなど、自分たちで取り組み、自主性を育むことができるような内容となっている。情報モラルについては、全学年を通して、スマートフォンを媒体としたSNS等にかかわる問題について、いじめ問題とからめながら構成するなど、より深く考えられるような内容になっている。北海道にまつわる教材が多く、小学校道徳で学習した教材の掲載もあり、中学生になってからの考えの変化や成長の確認をすることができるとともに、キャリア教育を見すえた高等学校への接続を図る工夫がみられるなど、小中高等学校の関連とつながりをもたせる教育が可能になっている。挿絵、写真が見やすく、文字もユニバーサルデザイン対応で読みやすい。使われている写真はリアリティがあるものが多く、現実を認識しやすくなっている。A B判で使用しやすいサイズであるとともに、1教材あたりの分量も適切であることから、柔軟にカリキュラムを組むことができる排列と分量になっている。』などの理由により、発行者、東京書籍を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
嶋崎教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

次に「特別の教科 道徳」以外の教科について審議を行います。

これから質疑に入ります。

各 委 員
嶋崎教育長

ありません。

別になければ、質疑を終結します。

お諮りいたします。

議案第30号、中学校用教科用図書の採択については、道徳について先ほど決定した発行者名及び教科書番号に修正のうえ、決定することにご異議ありませんか。

各 委 員
嶋崎教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、議案第30号については、そのように決定されました。

以上で議案第30号、中学校用教科用図書の採択についての審議はすべて終了いたしました。

日程第5、報告第18号、教科用図書の採択に係る情報の公表に

ついてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

中野 部長

報告第18号、教科用図書の採択に係る情報の公表につきましてご説明いたします。議案書15ページをご覧ください。義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律において、教科書を採択したときは、採択結果及び理由等を公表するよう努めることとされており、また、北海道教育委員会の教科用図書の採択基準において、公表の方法については、教育委員会において決定するよう示されているところでございます。これらのことから、今年度の中学校用「特別の教科 道徳」の教科用図書の採択に係る情報の公表につきましては、採択した教科書発行者名、採択理由、本日の教育委員会会議の会議録、教科用図書選定委員会からの答申書及び調査研究資料などを遅滞なくホームページで公表したいと考えているところでございます。また、このうち、採択した教科書発行者名につきましては、本日の教育委員会会議終了後、準備が整い次第、報道機関へ通知しようと考えているところでございます。説明は以上であります。

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

ここで私から一言ご挨拶を申し上げます。平成31年度から使用いたします教科用図書につきまして、6月の選定委員の委嘱から始まり、約2ヵ月をかけ、本日の教育委員会会議におきまして採択されたところであります。委員の皆様にはこの間、連日にわたり調査・研究を行っていただき、また、本日は採択の審議を慎重かつ適正に進めていただき大変ご苦労さまでした。帯広の将来を担う子どもたちのために、より適した教科書の採択に最後までご尽力いただきましたことに心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。これをもちまして、本日予定されておりました案件はすべて終了いたしました。

以上で平成30年第13回帯広市教育委員会会議を閉会いたします。

嶋崎教育長
各 委 員
嶋崎教育長